

+幸せを探すあなたへ

## サイコパス、 なぜ悪行は 繰り返されるのか

お金がたくさんあり、マナーも良い美男子だと思っていたのに、キョンギ西南部のクンポ地域で、2年以上続いたカン・ホスンの連続殺人が全国に社会的な恐怖を呼び起こす中で、護身用品業界は好況を迎えていると言われています。ハンサムな容貌にマナーがあって、軟らかい物腰で誠実に見えたという周辺の人々の話と、すでに前科9犯で、女性に見せる残忍さの両面性が、より一層人々を驚かせています。歴代主要連続殺人事件を調べれば、1975年キム・テドゥがスウォン、ピョンテク、ヤンジュー帯で17人を殺害、1982年ウ・ボムコンが、キョンサンナムドのウリョンで、村民56人を殺害、1986年～1991年にキョンギ、ファソンで変死体10体発見、1994年にキム・キファンなど、至尊派の一団が事業家夫婦など5人を連続殺害、1994年にオン・ブヒョンがタクシー運転手に偽装して婦女子6人を拉致して殺害、2000年にチョン・ドゥヨンが釜山とウルサンなどで鉄鋼会社長夫婦など富裕層9人を殺害、2004年にユ・ヨンチョルが出張マッサージ師など21人を殺害、2006年にチョン・ナムギュがソウル西南部地域で13人を殺害、そして今回のカン・ホスン事件など、ぞっとする連続殺人が繰り返されています。専門家たちは、こういう連続殺人の行為は、典型的なサイコパスの姿だと話しています。

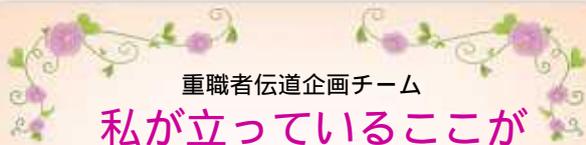
はたしてサイコパスゆえの行いなのでしょうか。サイコパス(psychopath、反社会的人格障害者)という言葉は、ドイツの学者シュナイダーが1920年代に紹介した概念で、残忍な社会悪的な行為を平然と行いながら、その行為に対する罪悪感と道徳心は存在せず、他人の苦痛に無関心で、同情心もない人のことを言います。彼らには、他人は単に自分の利益の



道具であるだけです。サイコパスの原因について、人々は遺伝的な面と環境的な側面が、主要な要因に推測されると明らかにしました。それなら、はたして、サイコパスは治療することができるのでしょうか。現在まで試みられたサイコパス治療プログラムは、すべて使い道がなかったり、あるときはプログラムの後に再犯が増加する傾向を見せたことが知られています。現在は、サイコパスを正常に戻す方法は、事実上ないと告白されています。さらに深刻なのは、専門家 Hare 博士の話によれば、サイコパスは全人口の1%ほどいると推定されるというので、それなら私の周囲にもいくらでもありえるという事実です。はたして私たちには希望がないのでしょうか。

繰り返す悪行を終わらせる道があります。本当に問題を分かれば、本当に答えが見つかります。だれも、どこでも教えてくれない霊的世界、確かに存在している暗やみ勢力とサタンの働き(ヨハネの福音書8:44、ヨハネの手紙第一3:8)、そのために理解されずにずっと繰り返されている人間の悪行と、自分だけが知っている隠れた霊的問題、理解できない成功者の自殺のニュース、精神病と麻薬のぞっとするほどの増加、シャーマニズムと墮落文化の急速な拡散、この中でさまよう次世代たち...神様に会うように創造された人間のアイデンティティー喪失によって来る姿です。それで、神様が人間にくださった解答がキリストです。神様に会う道で、運命と運勢から抜け出す道で、サタンの勢力で抜け出す道です。その方がまさに私たちのために十字架で死んで復活されたイエス様です。あなたは神様と人間の間にかかる橋を渡りたくありませんか。イエス・キリストが、まさにあなたの人生の唯一の橋なのです。

「しかし私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死んでくださったことにより、神は私たちに対するご自身の愛を明らかにしておられます」(ローマ人へ手紙5:8)



重職者伝道企画チーム

## 私が立っているここが 世界福音化のための 始まりです

**小さいことの中に含まれている世界** ナビゲーター宣教会を創始したドーソン・トロットマンは、平凡な人で高等学校卒業後、酒とギャンブルに陥って暮らし、偶然に教会で開かれた聖書暗唱大会に参加した後、彼の心を離れなかった10個の聖書箇所によって人生が変化し始めたのでした。その後、トラック運転手として仕事をしながら聖書勉強をした中で、1933年レ・スペンサーという海軍に招待されて、甲板で聖書を読んで討論をするようになりました。その姿を見て、海軍が集まりはじめ、それから始まったナビゲーター(Navigator)宣教会は全世界に伸びていき、今日、大学現場に大きい影響を与える団体になりました。

今から104年前の1905年2月23日、アメリカの伊利ノイのシカゴのある鉱山技師の事務室に4人の男が集まりました。鉱山技師と石炭工、洋服商、弁護士(ポール・ハリス)として仕事をしていた彼らは、荒廃していく社会を残念に思う心で、互いに助けて社会に尽くすクラブを作ることになりました。そのクラブが、まさに今日、韓国で5万3千人の会員と200余りの国家で120万人が活動する国際ロータリークラブです。

**行くよりさらに重要なのが私がいる現場です** ヨセフは奴隷だった現場でエジプトを生かす答えを受けました。舅のイテロの羊を飼っていたモーセは、ホレブ山の現場で出エジプトの答えを受けました。指導者が墮落した時代、サムエルは神殿の契約の箱のそばに横になっていて、イスラエルを生かす答えを受けました。兄にいじめられていたダビデは、単独で羊を飼っていた荒野の現場で一時代を生かす王の答えを受けました。ドタンで静かに次世代を育てていたエリシャは、危機からイスラエルを救う答えを受けました。パウロは監獄で、ルカは医師の現場で、時代を生かす伝道者の答えを受けました。なぜなら、すべての祝福の根源が神様で、その祝福の根源を動かす鍵がキリストだという事実を知っていたためです。そうすれば、自然に、神の国はその現場に臨むようになっていきます。これが、指導者が味わう現場キャンプの祝福です。



### 神様の子どもになる 受け入れの祈り

愛の神様、私は罪人です。イエス様が十字架で死んで、復活されることによって、私のすべての問題を解決してくださったキリストであることを信じます。今、私の心の扉を開いて、イエス様を私の救い主として受け入れます。今、私の心の中に来てくださって、私の主人になって、私を導いてください。これから、神様の子どもになった祝福を味わいながら生きるようにさせてください。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



### 神様の子ども五つの確信

#### 救いの確信

イエス・キリストを信じて受け入れたあなたは、神様の子どもになって救いを受けました(ローマ 8:15~16、1ヨハネ 5:10~13)

#### 祈り答えの確信

神様の子どもはイエス・キリストのお名前でも何でも求めることができ、神様はみこころ通りに必ず答えてくださいます(ヨハネ 15:7)

#### 導きの確信

神様は聖霊であなたの中におられ、あなたのすべての人生を治めながら導かれます(ヨハネ 14:26~27、箴言 3:5~6)

#### 赦しの確信

あなたのすべての罪はイエス・キリストのあがないの血の力で解決され、神様はだれでも罪を悔い改めれば許して下さい(1ヨハネ 1:9、ローマ 3:24)

#### 勝利の確信

救われたあなたは、世の中に勝たれたイエス・キリストによって、どんな問題の中でも信仰で勝利することができます(ローマ 8:31~37、1ヨハネ 5:4)



### 神様の子ども毎日の祈り

父なる神様、イエス・キリストによって神様がいつも私とともにおられて、導かれることを感謝します。今日も、すべての生活の中で、神様の子どもになった祝福を味わうように、聖霊で満たしてください。

私の家庭と現場と行くところごとに、福音を邪魔して困らせるすべてのサタン勢力を権威あるイエス・キリストの御名で縛ってください。どんなこと、どんな問題でも、解決者であるイエス・キリストに任せて、その中で神様のより良い計画を発見しながら、聖霊に導かれる生活になりますように。それで、私の生活を通して、イエス様がキリストであるということがあかしされるようにして、私の現場に神の国が臨むようにしてください。毎日、私の生活の中で神様の願いである世界福音化の契約を握って勝利できますように。今も私とともにおられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

## 私のものを見つけよう！



**今はもう、真の私のものを見つけましょう**  
アメリカにアルトン・リンクレーターという博士学位を 10 個持っている天才がいました。彼は米国政府の顧問で、ディズニーランドの

全体設計を計画した人です。大統領も彼を尊く思って、すべての人々が彼を称賛しました。そのように、富と名声を得ながら、彼は幼い時から信じていたイエス様を捨て教会を離れ、自分が最高だと考えて生きていました。そのようなある日、愛する 14 歳になった娘が家出して、こういう手紙を残しました。「パパ!心配しないで下さい。私の人生は私が責任をとって生きています」そして、数日後に娘の自殺のニュースを聞かされたのです。彼は娘の自殺を知って「私が神様を捨てて教会を離れたので、私のいのちのような娘が、このように自殺したんだなあ。私の人生が崩れてしまったのだなあ」と号泣しました。彼は真の自分が何なのか、本当に大切なことがどんなことなのか発見するようになりました。娘を失ってしまったのですが、家族みんなが神様の前に立つようになりました。彼は、自分が握った四つの成功の秘訣を証しました。神様の前で謙遜、忍耐、勇気、神様の導きがまさにそれです。

**越えることを越えるべきです** 韓国は今、理念を越えることができなくて、政治的に、軍事的に、地域的にひどい混乱と困難に出会っています。日本が強制占領していた期間、日本が韓国から撤収しながら残した言葉があります。「韓国とは戦わなくても良い。なぜなら、自分たちどうして戦って自分から崩れるから触る必要はない」伝道は、全てのことを越えることです。ユダヤ人が犬のように扱っていたサマリヤの人々に、ピリポは福音を持ち込んで新しい祝福の門を開けました。一つだけ質問をいつもすれば、十分に越えられます。「私が本当に聖霊に導かれているのか」神様の願いは、人を生かすことです。聖霊に導かれたら、私たちが会う人を生かして、回復させることができます。

**見つけることを見つかるべきです** まず最初に、なぜこの地に災いと犯罪が絶えず起きるのか、理由から見つけなければなりません。その理由が、まさにサタンが働く原罪であり、神様を離れた事件のためです。そして、キリストを通して私たちにくださった神様の子どもの祝福を見つければなりません。神様がともにおられる者、導かれる者、答えられる者に勝つ人はいません。歩みごとに御使いに守られ、暗やみの勢力が崩れて、弟子が起きて、みことばが成就します。聖霊の満たしと 5 つの力(霊力、知力、体力、経済力、人材)を持って世の中に出て行って神の国を成し遂げるようになります。この力を持って教会の中を見て、現場をながめれば、弟子が見え始めます。この弟子と共に地域を生かす地教会の答えを味わうようになります。

**回復しなければならないことを回復しましょう** 祈りの力から回復しなければなりません。祈りに集中できるならば、すべての問題は解決されます。祈りの力を回復すれば、みことばの力を回復するようになって、現場にみことばが成就する証拠と未来が見られるようになっています。いのちをかける価値を発見すれば、時代的な答えがきます。いのちをかけるだけのことを発見すれば、唯一性の答えがきます。いのちをかける価値と答えを見た人が、殉教精神を持って始めれば、空前絶後の答えが与えられるようになります。真の祈りの力を持って世の中を生かす、生きた殉教者の祝福を回復するように願います。  
説教\_柳光洙牧師、整理\_チャ・ドンホ牧師

## 毎日毎日の森の泉

9日(月)

**教会を生かす成熟した次世代(ローマ 16:17~20)**

問題と葛藤の中で真理に従うことができる人、善良だが賢くて、悪いことにうとい人、福音の目を持って人を配慮することができる力を持った人がこの時代に必要な成熟した次世代です。

10日(火)

**遠くを見てしなければならぬ働き**

**(ローマ 16:25~27)**

私の人生、私の現場、私が仕える教会に本当に必要なことが何なのか。そして、私をなぜそこに呼ばれたのだろうか。その必要を知って、自分のアイデンティティを発見する時、永遠な答えを味わう伝道が始まります。

11日(水)

**新しいことのために昔のことを捨てましょう**

**(使徒 1:1~11)**

なぜ流れる川は腐らないのでしょうか。その理由は、前の波が後の波に席を譲るためです。神様が準備された新しい力を毎日味わう聖霊の満たしを受ける時、人も、世の中も生かす福音の真の証人になります。

12日(木)

**私は何を持っているのか(使徒 1:12~14)**

何が入っているのかにしたがって、入れ物の価値が決まります。私の人生の中にイエスがキリストという信仰告白と聖霊の満たしを味わう祈りの奥義が入っている人が、神様の契約を成し遂げる主人公です。

13日(金)

**伝道キャンプ時代(創世記 1:3、使徒 19:9)**

暗さに光が照らすならば、どうなるでしょうか。暗やみの勢力を打ちくだく福音の光が私の人生、私の現場、私の教会、私の訓練期間、私の一生に照らすとき、次世代が生き返って、世界福音化の伝道の門は開かれるようになっています。

14日(土)

**あわれな運命に陥った者のために**

**(イコリト 1:18~31)**

鍵(key)を持っていれば自動車を動かせるように、福音の恵みを受ければ、全てのことを変えられます。十字架の言葉(福音)は信じる者には神様の力になるためです。

## 週間メッセージ

産業宣教	現場伝道キャンプ(使徒 8:4~8,26,29)
伝道学	タラッパン理解(使徒 1:12~14)
核心訓練	牧師のための祈り(ローマ 16:17~27)
聖日 1部	:福音の中にある私のものを見つけよう (イコリト 2:1~12)
聖日 2部	失われた殉教精神(使徒 7:54~60)



イラスト\_ユン・スルギ

## 故郷へ行く道

しかし、私たちにはそれではない別の故郷がある。肉が生まれた故郷と、生活の生存のための異郷があるならば、さらに本論的な故郷があるのだが、それは本郷だ。目にありありと浮かぶ現実の人生ではよく感じるができないが、年を取れば取るほど、そして、哲学的思考をすればするほど、人間はなんであり、はたして人間はどこからきて、なぜ生きていて、どこへ行くかを少しだけ考えて、人間の出発を知りたくて、未来を期待するようになる。大人が亡くなると、「帰る」と言われる。出たところに行くという言葉だ。人間は、どこから出たのだろうか。人々の思考が形成され始めた時からの質問だが、それに対して、明快に説明されているものは、どこにもない。ただし、聖書が言うのには、現在の人間は罪から始まったということだ。罪の終着点は言うのにも困るが、人々が聞くのも嫌う地獄だ。それで、人々が最終に到着する故郷は地獄なのだ。行くのが嫌で、避けたくても避けられない現実がそれだ。それでは、すべての人がそちらに行くのだろうか。違う。この世にいる所が故郷でも、異郷に留まっても、そこで行く所の方向を変えた人々は他に行ける。結局、本郷を天国にする人は、福音を受けた人だ。福音は地獄を天国に変える力がある。故郷を往復する道で、異郷暮らしに疲れる現実で、故郷を天国として生きる者の喜びをともに味わったら良いと思う。

文\_チョン・ヒョングク牧師(福音コラムニスト)

正月やお盆の時期になると、故郷へ帰る道で帰省ラッシュが起きる。今年は、冬の良い天候の中で、なぜか正月を迎えて大雪が降り、故郷に戻る道が遠くなった。幼い時、しばしば歌ったイ・ウォンス作詞、ホ・ナンパ作曲の童謡「故郷の春」は実際には、大人たちが毎日歌いたい歌だろう。

人々は故郷を離れる。勉強のために、就職して、結婚を理由に、楽しい歌があって、うれしい友人がいて、優しい親の情が溶け込んでいる故郷を離れる。そして故郷を懐かしがる。「私の住んでいた故郷は、花が咲く山奥/桃の花、あんずの花、山つつじ/色とりどりに花の宮殿の町/その中で遊んだ時が懐かしい」

故郷を離れた人々が、生活を送る現場は異郷だ。夢を探して来たところだが、虹はどこにもなくて、疲れる現実だけが水車のように繰り返されるので、故郷を懐かしがりながら、異郷生活をする。既成世代がよく聞いた歌謡曲「異郷暮らし」が、まさにそれだ。キム・ヌンイン作詞、ソン・モクイン作曲、コ・ボクスの歌だが「異郷暮らしを何年しているか、指を折って数えてみたら/故郷を離れた十年あまりで青春だけ老いて/浮草のような私の身の上、一人でぼうぜんと/窓の外をながめると、空はあちら側」

まだ両親の下で育つ世代は分からないだろうが、故郷を離れて暮らしている親の世代は、誰でも共感するだろう。それで、今でも時々、胸があつくなる歌だ。

\* 相談したい方はこちらまで連絡してください